

2024年9月

安全報告書 (2023年度分)



上飯田連絡線株式会社

はじめに

上飯田連絡線（名鉄小牧線味鋺駅～名古屋市営地下鉄上飯田線平安通駅）は、2003年3月27日の開業以来多くのお客さまにご利用いただいております。地域の重要な交通手段としての役割を担っております。

当社は、上飯田連絡線の鉄道資産を保有する第三種鉄道事業者として、「安全管理規程」を定め、営業運転等を担う第二種鉄道事業者（名古屋鉄道株式会社及び名古屋市交通局）と連携して輸送の安全確保に努めており、この報告書は、当社における輸送の安全を確保するための基本的な方針と、2023年度に講じた措置について、鉄道事業法に基づき「安全報告書」として公表するものです。

皆様方におかれましては、この報告書により当社の取り組みをご理解いただくとともに、今後の取り組みを一層充実させるため、ご意見、ご感想をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

上飯田連絡線株式会社

代表取締役社長 茶 谷 泰 樹

1 安全管理規程

第二種鉄道事業者と連携し、第三種鉄道事業者として輸送の安全を確保するため遵守すべき事業の運営の方針、事業の実施及び管理の体制・方法を定めることにより安全管理体制を確立し、輸送の安全の水準の維持・向上を図ることを目的として「安全管理規程」を定めています。

2 基本的な方針

(1) 安全基本方針

- ①一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。

- ⑥情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な改革に取り組むよう努めます。

この安全基本方針の趣旨を踏まえ、3項目に要約した安全方針を制定し、携行することにより、社員が常に安全最優先の意識を徹底するよう促し、安全確保の取り組みを推進しています。

(2) 安全重点施策

上飯田連絡線内における事故・輸送障害が発生しないことを目標とし、達成するため社員等の教育・訓練及び鉄道施設の改良等に第二種鉄道事業者と連携して取り組んでまいります。

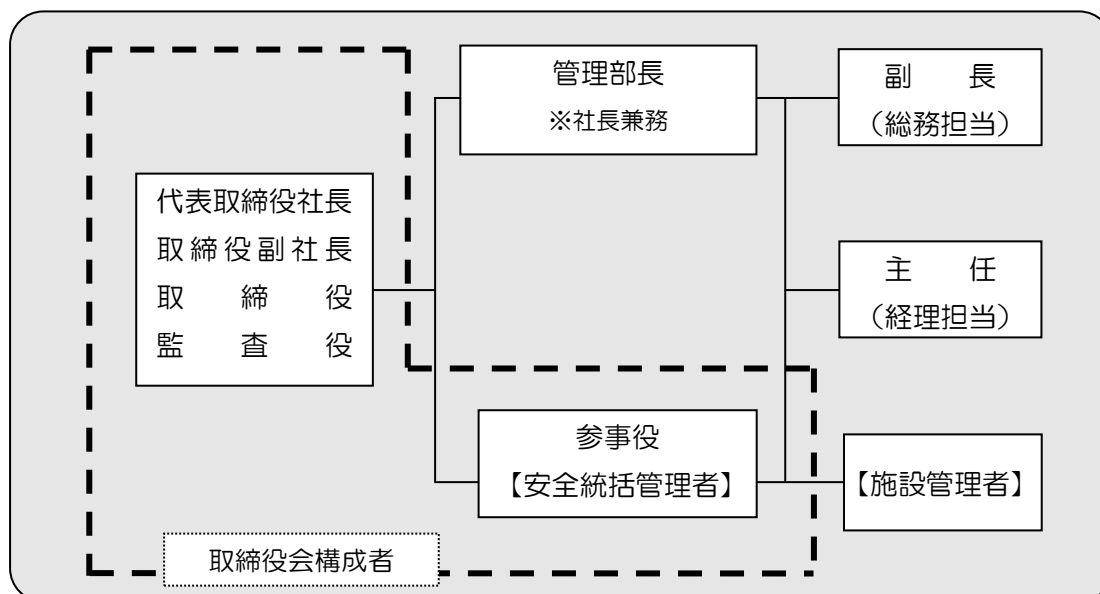
安全方針

- 1 安全最優先に努めます。
- 1 法令・規程を遵守し、職務を遂行します。
- 1 問題意識を持ち、改革に取り組めます。

上飯田連絡線株式会社代表取締役社長
茶 谷 泰 樹

3 安全管理体制と方法

(1) 安全管理体制



○各責任者の責務

- 社 長 ----- 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- 安全統括管理者 ----- 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- 管 理 部 長 ----- 輸送の安全の確保に必要な投資、予算及び要員等に関する事項を統括する。
- 施 設 管 理 者 ----- 鉄道施設に関する事項を統括する。

※安全統括管理者及び役員・社員は、適宜現場に赴き、輸送に係る業務の実施及び管理の状況を確認しております。

(2) 安全管理方法

事故・災害等に備え、速やかに関係機関との連絡・連携ができるよう、連絡体制図を当社事務室に掲示するとともに、第二種鉄道事業者との協定により、施設の保守管理及び事故・災害等の情報について随時報告を受けており、連携して対応しております。

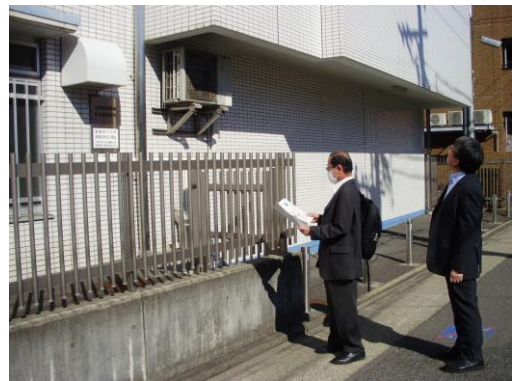
4 安全確保等のための措置

安全管理体制の適切で円滑な運営及び安全に関する取り組みの継続的な改善のため、役員を含めた社内研修や連絡会議の開催、中部運輸局及び第二種鉄道事業者等関係機関からの情報の社内周知、第二種鉄道事業者との合同会議や訓練等への参加等コミュニケーションを確保し、情報の共有及び問題解決に取り組んでいます。

(1) 社内の取り組み

① 運輸安全マネジメント研修（4月～10月）

社員の異動や役員の就任に伴い、鉄道事業者として求められる運輸安全マネジメントについて、これまでの取り組み等を説明するとともに味鋤・平安通間の上飯田連絡線の施設等の現地確認を実施しました。



① 運輸安全マネジメント研修（左：取り組み等説明、右：施設等現地確認）

② 輸送の安全に関する内部監査（11月28日）

経営管理部門を対象に内部監査を実施しました。結果は、以下のとおりです。

【指摘、指導事項】 なし

【優良事項】 なし



②輸送の安全に関する内部監査

③ マネジメントレビュー会議（12月26日）

安全統括管理者が安全管理体制の構築・改善状況を社長に報告し、社長より「数年間に亘った新型コロナウイルスの影響もようやく落ち着いてきたが、一方で頻発化・甚大化する自然災害や列車内での凶悪事件等への対策について、引き続き第二種鉄道事業者と連携して、良好な安全管理体制を堅持すること。」との講評がありました。



③ マネジメントレビュー会議

（2）第二種鉄道事業者との連携

① 施設担当者会議（4月27日）

第二種鉄道事業者の施設担当部署との合同会議を開催し、上飯田連絡線の施設改良及び保守に係る新年度計画及び前年度実績の報告及び意見交換を実施しました。



① 施設担当者会議

② 災害事故総合復旧訓練（10月3日）

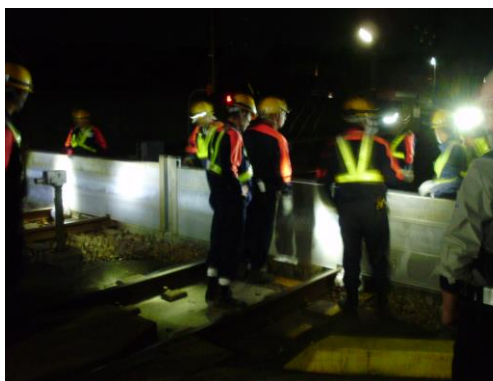
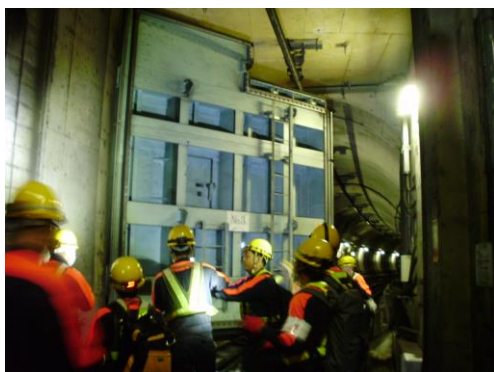
第二種鉄道事業者である名古屋鉄道株式会社が実施した訓練に参加しました。踏切において自動車と衝突したとの想定で、反対列車の抑止、現場状況把握、事故通報、避難誘導、障害物除去、車両復旧、事故車両の収容、施設の復旧、旅客指令からの情報展開等の訓練を実施しました。



② 災害事故総合復旧訓練

③ 制水扉等操作訓練（10月10日終車後）

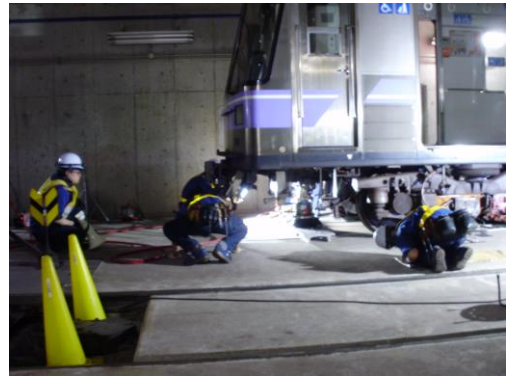
第二種鉄道事業者である名古屋鉄道株式会社が実施した上飯田連絡線制水扉等操作訓練に参加しました。味鉢・上飯田間に設置してある制水扉の操作訓練と止水壁の設置訓練を実施しました。



③ 制水扉等操作訓練（左：制水扉、右：止水壁）

④ 脱線事故復旧総合訓練（11月8日）

第二種鉄道事業者である名古屋市交通局が実施した訓練に参加しました。走行中の列車が緊急地震速報を受信し緊急停止措置をとった後、震度7の地震発生により車両が脱線したとの想定で、避難誘導、多言語での情報提供、併結運転、脱線復旧、施設復旧等の訓練を実施しました。



④脱線事故復旧総合訓練

⑤ 運輸安全マネジメント担当者会議（11月21日）

第二種鉄道事業者の安全監理担当部署との合同会議を開催し、上飯田連絡線に係る安全報告書に関する報告及び各事業者の運輸安全マネジメントに関する取り組み等に関する意見交換を実施しました。



⑤運輸安全マネジメント担当者会議

⑥ 地下鉄車内不審物対応訓練（12月22日）

第二種鉄道事業者である名古屋市交通局が実施した訓練に参加しました。入庫した車両に不審物が残置してあったことを想定し、職員による車内点検の実施、警察への通報を行うとともに不審物処理のための機動隊出動要請及び機動隊による不審物の処理などの一連の実技訓練を実施しました。



⑥地下鉄車内不審物対応訓練

⑦ テロ対応訓練（2月14日）

第二種鉄道事業者である名古屋鉄道株式会社が実施した訓練に参加しました。車内で不審者が刃物を所持している、列車内で化学剤テロが発生したという二つの想定で不審者対応、警察への通報、避難誘導、警察による負傷者救護、原因物質の採取や除染作業等の訓練を実施しました。また、警察によるさすまたと防護盾の取扱い講習も実施されました。



⑦テロ対応訓練

⑧ 名古屋市交通局日進工場見学(2月22日)

第二種鉄道事業者である名古屋市交通局の日進工場における車両の検査修繕等に係る安全確保に関する取り組みに関し説明を受け、施設の見学を実施しました。また、列車内での緊急事態が頻発する昨今の情勢に鑑み、車内非常通報装置について使用方法の説明を受け、実際に使用して通報の実演を行いました。



⑧車内非常通報装置実演

5 事故の状況等

当年度中において該当事項はありません。

6 行政指導等

当年度中において該当事項はありません。

連絡先：電話 052-746-9777・FAX 052-746-9778、電子メール kami-iida@iris.ocn.ne.jp



上飯田連絡線株式会社

■上飯田連絡線のシンボルマークコンセプト

尾張北部地域のイメージカラーとした“緑”と名古屋都心のイメージカラーとした“青”を2つの円で表し、また、これを結ぶ2本の線は、名鉄と地下鉄の相互直通運転による地域の発展への貢献と上飯田連絡線をご利用されるお客様へのサービス向上を表しています。